

若手会員の海外渡航費等支援について

本支援は、わが国における女性研究者の先駆者として戦後昭和期に桑園土壌を対象に研究者人生を送られた故 稲松勝子会員からのご寄付および（財）肥料研究所の解散に伴うご寄付を基に、理事会で「女性・若手会員支援事業積立金」に繰り入れることを決議した財産をもって、女性・若手の育成を目的として行う事業です。

支援の目的、支援対象者および支援額：

日本土壌肥料学会所属の若手正会員（募集締切日時点で40歳以下）および学生会員の国際的な活動を支援するため、海外で開催される学会等で研究発表するための渡航費用の一部として、毎年度総額70万円を限度として支援する（以下「渡航費支援」と呼ぶ）。支援する金額は一人当たり10万円を限度とします。

採択された若手正会員および学生会員は可能な限り廉価な割引往復航空券を購入するものとし、事後航空券半券および領収書（支援額が航空券代の一部である場合にはコピーも可）を提出してください。また、参加報告として、終了後に学会等の概要を日本土壌肥料学雑誌の国内外情報欄に記事として投稿することとします。

なお、海外渡航を要せずオンラインで開催される国際学会等で研究発表するための参加登録費（以下「参加登録費支援」）に限り、これは一人当たり5万円を限度として支援対象とし、事後領収書の提出及び、参加報告として終了後に学会等の概要を日本土壌肥料学雑誌の国内外情報欄に記事として投稿することとします。

募集期間および応募方法：

年2回募集します。応募にあたっては所定の申請書様式を用い、締切日までに、必要な添付書類を貼付したEメールを提出してください。添付書類については申請書様式に書かれている内容を参照し、学生会員が応募する場合は、必ず指導教員の承認を得てください。

（1）応募申請の締切日と対象となる国際学会

前期締切日：7月6日

締切当年の9月1日～翌年の2月末日に開催初日を迎える国際学会を対象とします。

後期締切日：12月15日

締切翌年の3月1日～8月31日に開催初日を迎える国際学会を対象とします。

（2）応募申請方法

所定の申請書（申請様式.xlsx）および経費見積資料PDFを貼付した下記宛先・件名のEメールにて締切日までに申請されたものを受付けます。

宛先：sfpoffice@jssspn.jp 件名：若手海外渡航等申請

※申請メールの着信確認が1週間以内に返信されない場合、上記宛先にお問い合わせください。

採否の審議：

締切日後3週間以降の最も早い理事会において採否の審議を行い、決定します。採否にあたっては、申請書の記載事項、前期・後期のバランスなどを考慮します。また、稲松勝子会員からのご寄付に基づく支援であることに鑑み、同程度に支援が必要な候補者がいる場合には、女性を優先します。

決定通知と事後の報告：

理事会での採否の決定後、申請者に速やかに通知します。通知後の支援手続きは日本土壌肥料学会事務局の指示に従って進めます。支援を受けた者は、事後速やかに会誌の国内外情報欄に会議の概

要を投稿するものとします。なお、会誌（和文誌）に掲載することから、原則として日本語の原稿としますが、英文の原稿を指導教員等の翻訳添付で提出しても良いこととします。

有志の方々へのお願い：

本支援事業の趣旨に賛同し、支援事業への拠出をお考えくださる方は、日本土壤肥料学会事務局までお申し出ください。また土壤肥料学の振興に向けたご寄付をお考えの方がおられましたら、是非ともご連絡ください。日本土壤肥料学会が責任を持って対応・運用いたします。 "